

理事からのメッセージ

創立40周年を迎えて

一般社団法人情報通信技術委員会 代表理事専務理事
岩田 秀行



TTC が 1985 年の電気通信分野の自由化施策の一環として 1985 年 10 月 25 日に設立されてから 40 年となりました。TTC は情報通信分野での標準化の推進とともに、その発展に貢献してまいりました。これまで多くの皆さまにご支援、ご協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。

1985 年は、つくば科学万博が開催されました。万博では、会場に光ファイバを敷設し、全国をつなぎ高精細な TV 中継等の INS (Information Network System) 体験ができました。本年開催されている大阪・関西万博のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」です。40 年間で、インターネットや移動体通信等の情報通信分野の技術は急速に発展し、それらに伴い、情報通信分野の標準化はネットワークの相互接続、品質や安全の確保のための標準化から、本年の万博のテーマが示すように、情報通信技術が社会課題を解決し、いのち輝く未来社会の実現に貢献するための標準化に移行しています。

迅速かつ多様な環境変化の中で、国内標準化団体として、柔軟に対応して行く必要があります。情報通信技術が生活に利便性に貢献する中で、様々な産業間の連携が必要になります。業界を越えた標準化の連携には、業界の標準化団体との連携を推進する必要があります。業界団体との連携を積極的に進めるため、連携の 세미나、ワークショップ等の連携の場を設けて参ります。2024 年 5 月に、IOWN (Innovative Optical and Wireless Network) Global Forum で検討された技術の国際標準化を行う IOWN GF 専門委員会を設立しました。未来社会を支える情報通信基盤の標準化に貢献して参ります。

一時代を担ってきた日本の国際標準化人材の方々から、若手人材への継承が滞っている状況を打開する必要があります。TTC では、標準化人材育成の検討を 2023 年度より実施して参りました。標準化人材の育成のためのフレームワーク構築、若手標準化人材の育成支援、標準化エキスパートからの支援等の具現化を官民一体で推進して行きます。また、2025 年度

から若手標準化活動者を対象とする表彰（情報通信技術標準化奨励賞）を始めます。

近年、地震や台風、豪雨等の自然災害や大規模な事故や障害が増えてきており、これに伴う被害も甚大なものとなっています。情報通信ネットワークを含め、災害や事故・障害が発生した後の社会基盤サービスの維持・早期復旧に向けた迅速な対応は非常に重要です。これら災害・事故等後の迅速な対応のための取り組みに対し、少しでも貢献してまいりたいと考えております。

2021 年 1 月に専務理事を拝命した際に、就任のご挨拶（ブログ^{*1}掲載）で TTC 版 SDG について表明し、頭文字 SDG シリーズとしてブログに記事も掲載しています。

- Sustainability
- Diversity
- Gap/Global

標準化がしっかりと進むことで、技術やサービスが効果的に普及し、世界中の国々で同じ基準で実施されることが可能になります。特に、新興国と先進国の間にある技術的な格差を解消するためには、標準化が欠かせません。標準化 Gap 解消の活動を通じて、新興国と連携し ICT 利活用による社会課題解決を推進するには、Sustainability と Diversity を重視することが不可欠です。技術ベースの標準化に加え、ユーザー視点での利用の標準化など、アクセシビリティ、ジェンダー等、Diversity を考慮した標準化等の活動を行っていききたいと思います。

この 40 周年を機に、改めて ITU-T や海外の標準化機関等の Global な潮流を踏まえ、TTC 内の推進体制や新テーマ・新興技術対応など標準化推進活動に反映してまいります。

今後とも引き続き TTC へのご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※ 1 : TTC ホームページ

専務理事 岩田秀行のつぶやき lwattar
<https://www.ttc.or.jp/blog/iwatablog>